

クロストーク「サステナビリティ×京都の伝統産業」

■ 内容

伝統産業を核にした持続可能な社会の実現に挑むゲストを招聘し、講演やモデレーターを交えたクロストークにより、SDGs時代における京都の伝統産業の魅力や可能性について考え、理解を深めるもの

■ 日時

11月27日(土) 14:00～15:30

■ 対象・定員

どなたでも(小学生以下は保護者同伴)、75名

■ 参加申込

11月1日から20日まで「さすてな京都」で申込みを受け付けています(先着順)。

【さすてな京都(申込先)】 TEL: 075-606-2548

E-mail: moushikomi@sustaina-kyoto.jp

■ 講演者

堤卓也 (TSUTSUMI Takuya)



(株) 堤浅吉漆店専務 / (一社) パースペクティブ共同代表 / 京都精華大学伝統産業イノベーションセンター特別共同研究員 / 国際環境 NGO Surfrider Foundation Japan アンバサダー

1978 年生まれ。明治期から続く漆の精製業者の四代目。

北海道大学農学部在学中、ニュージーランドで WWOOF(ファームステイ)で人と自然の近い暮らしを体験。卒業後は他業種を経て家業に従事。漆を育て収集する山側の「漆掻き職人」と、漆を塗る「塗師」の中間に立つ立場から、漆と人々の暮らしとの間に広がる距離感や、漆の生産量の減少に危機感を感じ、漆のある暮らしを次世代の子ども達につなぐ取り組みとして「うるしのいっぽ」を始める。「サーフボード×漆」「BMX×漆」「スケボー×漆」など、今までになかった取り合わせを通じて、漆との新しい出会いを提案。1 万年前から日本の風土で使われてきたサステナブルな天然素材「漆」を、次の時代に継承するべきものとして、2019 年、パースペクティブを設立。

【Florida surf film festival 2019】 Best Documentary Short 2019 受

【Japan Craft21「日本伝統工芸再生コンテスト」】最優秀賞ロニー賞受賞

■ 講演者

永原 礫 (NAGAHARA Leki)



inBetweenBlues、合同会社みつぐるま 代表/国際環境 NGO サーフライダーファウンデーションジャパン・ディレクター

1982年徳島県海部郡海陽町生まれ。

城西国際大学国際交流学科に在学中、全日本学生サーフィン選手権大会で学生日本一達成。卒業後は東京・米国・オーストラリアなど国内外で働きながら、サーフィンと音楽と芸術を学ぶ。

27歳でUターンし、肌着メーカー「トータス」に入社、藍の栽培や染色、衣料品の販売、新商品の企画などに従事。

2017年冬、藍染スケートボードと共に四国 88カ所霊場 1300kmの遍路道巡礼を達成後、地元海陽町の海辺に藍スタジオ『inBetweenBlues』を設立。

現在はiBBを拠点に、徳島県が世界に誇る伝統文化"阿波藍"×サーフ×空海をテーマとしたモノづくりやワークショップ、イベントプロデュース等を通して、人と自然に優しいライフスタイルや故郷の自然、伝統文化の魅力発信に努めている。

Facebook：永原レキ／instagram：leki303

【LexusNewTakumiProject2016】徳島県代表/ 小山薫堂 注目の匠 受賞

【平成30年度 平成藍大市】あったかビジネスプラン 優秀賞 受賞

■ モデレーター

下村委津子 (SHIMOMURA Shizuko)



認定 NPO 法人環境市民副代表理事／eco パーソナリティ (フリーランスアナウンサー) ／
 (一社) 市民エネルギー京都理事／持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J) 理事／
 NPO 法人 FEE Japan (国際環境教育基金) 理事／NPO 法人アントレプレナーシップ開発セ
ンター理事

1961 年生まれ。京都生まれの京都市育ち。

まちづくりや環境に関する番組で専門性あるパーソナリティとして企画・制作に携わり、出
演する。

NPO 運営のコミュニティ FM では、環境市民が放送する番組の企画・制作し、同局のまち
づくりの番組のパーソナリティもつとめた。

2017 年度から、ノートルダム女学院高等学校グローバル英語コースのグローバルワークシ
ョップで、SDGs と自分たちの暮らしのつながりを知り課題解決のための実践を生徒自らで
行う PBL プログラムを担当している。

息抜きは世界の海で潜ること。ドリトル先生に憧れ、海の生きものたちと話せる日を夢見て
いる。小学校の時に会ったドリトル先生とムーミンの本が、今でも環境や生きもの、多様
性、社会のお手本。